

Everyone welcome!! Let's visit the garden of Tetsuma Akaboshi.

旧赤星鉄馬邸の庭園活用社会実験

【11月速報版】

社会実験開催概要

●開催までの経緯

当社会実験の実施にあたっては、2023年7月に公募により武蔵野市在住在勤の企画・運営スタッフ25名を選出した。8月～10月に亘り、計3回の企画会議を実施した。企画会議では、7月までに実施した市民ワークショップの結果を基に、5つの企画を立案した。当企画は、企画・運営スタッフにより、ブラッシュアップし、社会実験での実現性について検討した。

▼社会実験開催に至る経緯

公募

今年度実施する社会実験のプログラムの企画・準備・当日の運営を行うプロジェクトスタッフを募集。

第1回



現地を確認し、市民ワークショップの意見を踏まえて、意見だし。社会実験の企画内容を検討。

第2回



市民ワークショップ、企画会議で意見が多かった企画について実施にむけた検討を開始。

第3回



5つの企画に分かれ、準備物の確認等の最終確認を実施。また、社会実験当日の運営計画も共有。

●社会実験の概要

当社会実験は、旧赤星鉄馬邸と庭園を一体的に活用していくことを目指したものである。まず第一弾としては、「庭園の活用可能性」に視点を置き、庭園のみを実験の会場とした。

社会実験は、秋晴れのなか開催され、老若男女さまざまな方が来場し、旧赤星鉄馬邸の庭園を堪能していた。

▼社会実験開催概要

日時	11月5日(日) 10時～19時 ※10時～16時は入退場自由。17時以降はシアター上映のため、入場制限を設けた。
企画	①カフェ「自家焙煎コーヒー屋 DREAMERS COFFEE」 ②スイーツ「ラトリエドゥタカコの焼き菓子」 ③雑貨販売「アトリエショップ P&M」 ④テーブル茶道ワークショップ ⑤旧赤星鉄馬邸七不思議展示 ⑥歴史勉強ツアー ⑦Harvest Wreath のこどもワークショップ ⑧親子ヨガ ⑨屋外ナイトシアター「人生フルーツ」 ⑩来場者対象ワークショップ(庭の活用方法について)
調査	・アンケート調査(①来場者対象、②近隣住民対象) ・滞留調査 ・音環境調査



社会実験結果報告（11月時点速報）

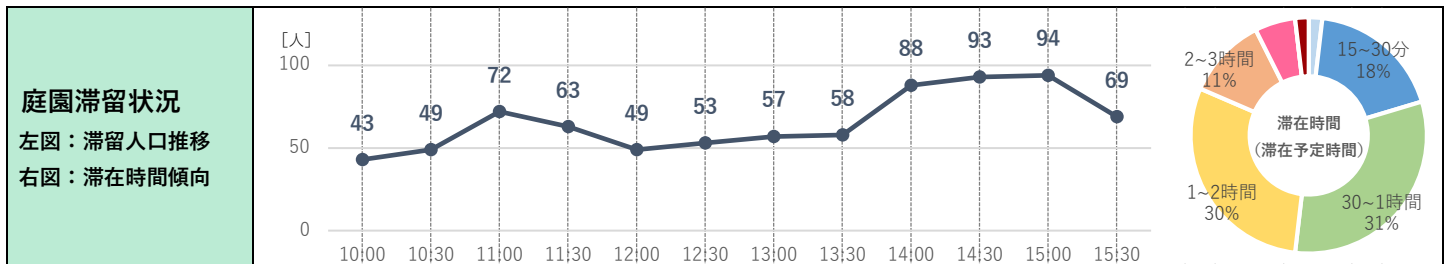
●社会実験時のプログラム

	10:00	10:30	10:30	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	...	17:00	17:30	...	19:00
① カフェ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
② スイーツ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
③ 雑貨販売		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●
④ 茶道WS				●	●			●	●	●	●	●	●					
⑤ 歴史ツアー				●	●	●			●	●	●	●						
⑥ 旧赤星邸展示		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
⑦ リースWS			●	●	●	●			●	●	●	●						
⑧ 親子ヨガ											●	●	●					
⑨ 屋外シアター																		●
⑩ 来場者WS		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				

●庭園内の滞留状況

社会実験時の庭園内の滞留人口は、40～100人の中で推移し、企画が重なる11時台、14時以降に多くの人々が来場した。また、来場者対象アンケート調査によると、滞在時間は「30～1時間」が31%、「1～2時間」が30%と多く、一定時間の滞在が確認できた。

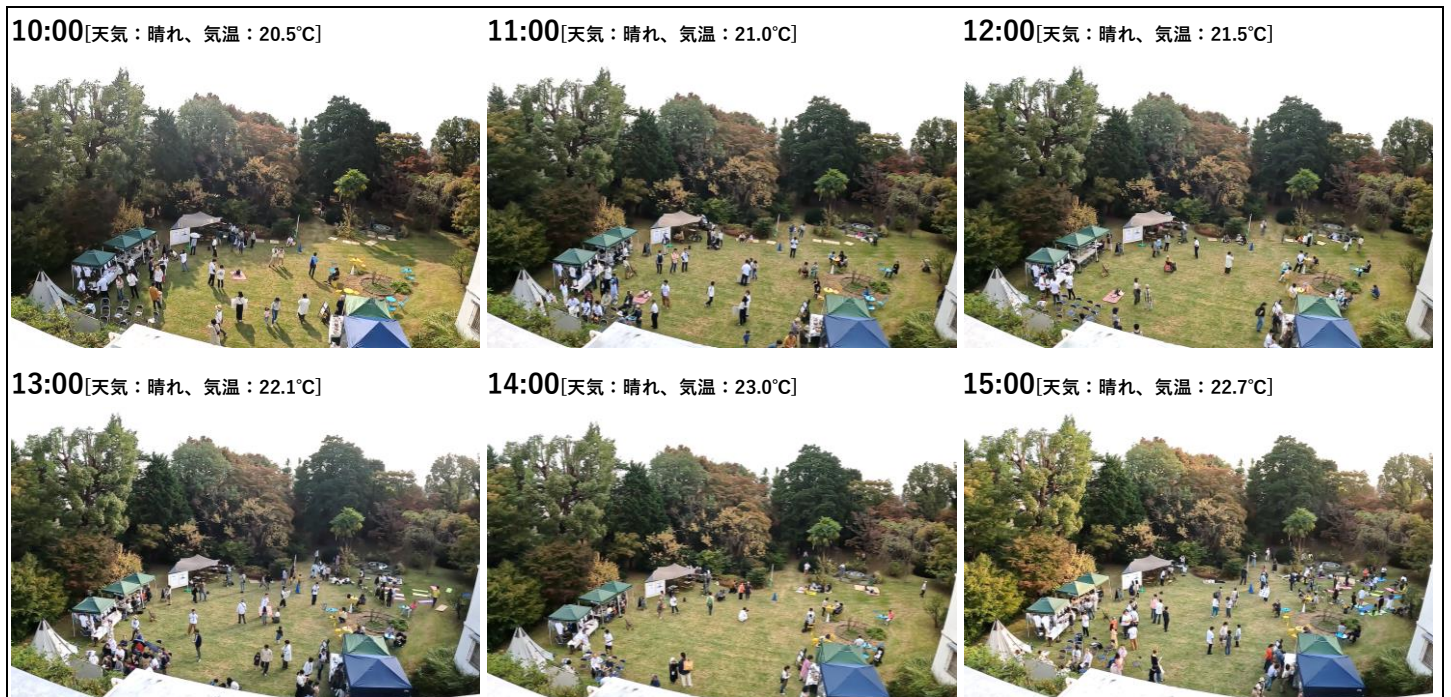
▼滞留人口推移及び滞在時間の傾向



※左図：定点カメラに記録した人数をカウント（スタッフ含む）

※右図：来場者対象アンケート調査による聞き取り（有効回答者数=54件）

▼定点カメラによる滞留状況



▼各企画の実施状況と参加者数等の結果



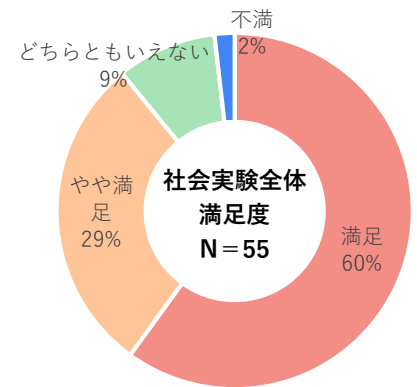
来場者対象アンケート回答者が利用した（または利用予定）コンテンツ（複数回答有）	各コンテンツの結果報告	
(有効回答者数=53件)		
カフェ	28	◀販売数：珈琲 120 杯、パック等販売 27 点
スイーツ	20	◀準備した焼菓子完売
雑貨販売 (Tシャツ)	9	◀販売数：Tシャツ 42 枚、雑貨等販売 20 点
テーブル茶道ワークショップ	6	◀参加者数：34 名（1 回 800 円）
Harvest Wreath のこどもワークショップ	11	◀参加者数：22 名（保護者除く）
親子ヨガ	3	◀参加者数：29 名
歴史勉強ツアー	11	◀参加者数：26 名
旧赤星鉄馬邸七不思議展示	16	—
屋外ナイトシアター	2	◀参加者数：96 名
ワークショップボード	2	◀意見数（付箋の数）：104 件

●社会実験来場者による評価

(社会実験全体満足度)

社会実験全体の満足度については、回答者の89%が「満足」または「やや満足」と回答した。その理由としては、「空間・心地のよさ」や「楽しさ」に関する理由が多くあり、庭園での滞留・活動の可能性について評価できた。また、「赤星邸自体」や「学び」に関する理由もあり、滞在しながら歴史等を学ぶことができたことについて評価できた。

一方で、回答者の9%が「どちらともいえない」、2%「不満」と回答した。その理由としては、建物内部の見学がなかったことやバリアフリーの入りにくさが指摘された。



▲社会実験の満足度評価

▼満足度評価の理由 (来場者アンケート調査より解析)

[評価できる理由]

- 空間・心地よさ 15件 (くつろげる、居心地がいい、雰囲気が良い、庭が広くて気持ち良い、芝生が気持ちいい等)
- 赤星邸自体 7件 (前々から入ってみたかったから、目に触れられない文化財を見ることができた、地域の風土や伝統を感じた等)
- 楽しさ 8件 (遊んだ、子どもと一緒に楽しく過ごすことができた、沢山の来場者、テントの内容、素晴らしいです等)
- 学び 3件 (知らなかった事を学べて楽しかったです、普段公開されていない場所を解説付きで見られたのがよかった等)
- 飲食 2件 (広いお庭でのカフェ気持ちいい、食と座る空間が充実していたから)
- 社会実験自体 3件 (歴史ある建物の話を地域の皆さんの手で活用しようとしているので、普段このようなイベントはないから等)

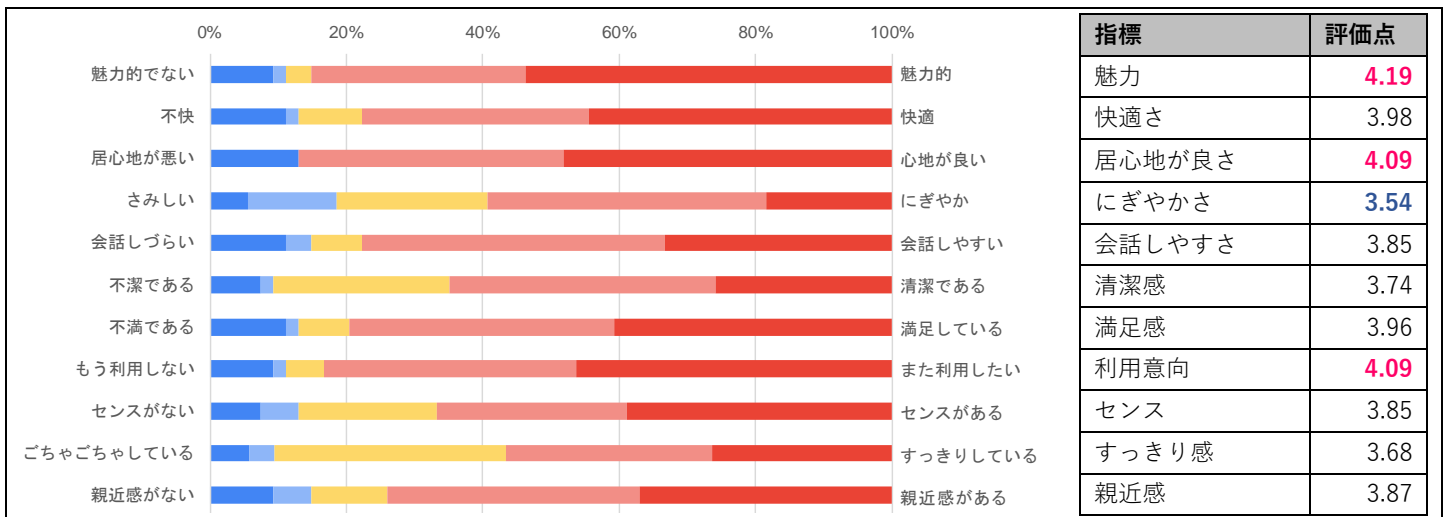
[課題となる理由]

- 赤星邸自体 4件 (建物の中が見れなかった、内部をみたかった、中が見られない、剪定をした方がいい等)
- 楽しさ 2件 (遊びがもう少し欲しい、音響的にやや難あり?)
- 福祉面 1件 (バリアフリーがまったくダメ)
- 社会実験自体 1件 (予約制のイベントばかり)

(庭園の空間的な評価)

社会実験時の庭園の空間的な評価について、11項目を5段階で評価した。「魅力」「居心地が良さ」「利用意向」について、4.0以上の評価点が確認できた。一方で、最も低い評価点としては、「にぎやかさ」が3.54であった。

▼空間的评价 (来場者対象アンケート調査による5段階評価)



※評価点：5段階評価を得点化(段階ごとに1点~5点に配点)し、有効回答数で除した値

(以前から旧赤星鉄馬邸を知る人が思う普段の印象)

普段の印象としては、歴史・文化的な財産としての印象がある一方で、閉鎖的な印象を持つ人も一定数確認した。

▼普段の印象 (来場者アンケート調査より解析)

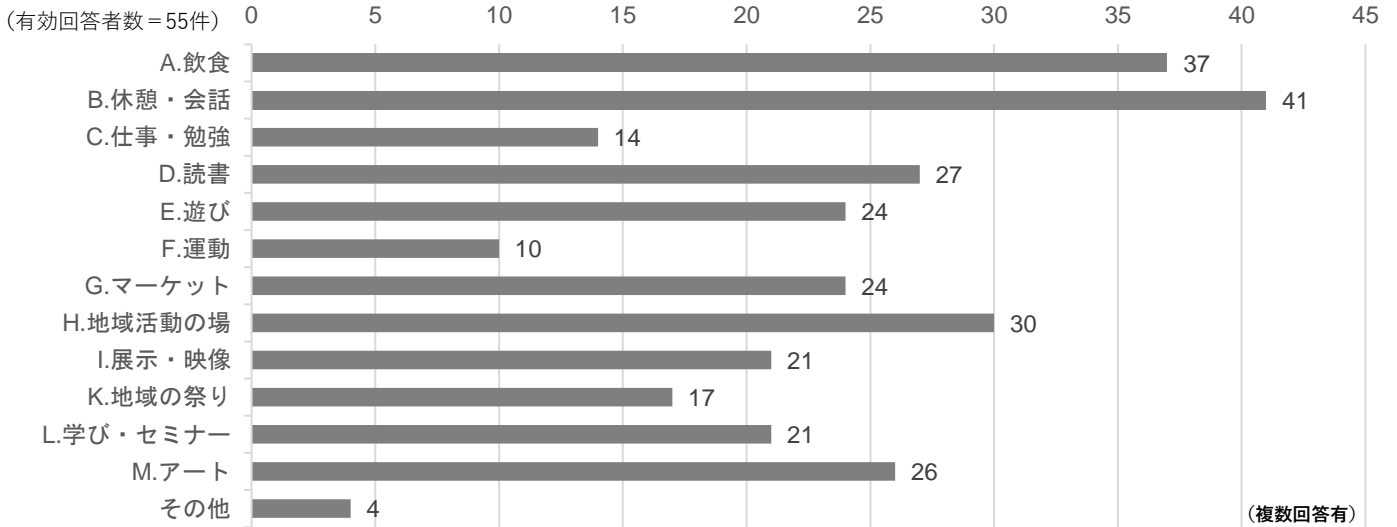
- 歴史・文化 8件 (歴史的な建物と庭、地域の文化財、残ってよかった、モダン等)
- 閉鎖的 8件 (塀が高く近寄りづらい感じがしていた、暗いイメージ、入れない、謎、暗く閉鎖的等)
- その他 8件 (思ったより緑がある、静かな感じ、地味な感じ、有名な建築や赤星邸とは知らなかった等)

●来場者の活用意向

(旧赤星鉄馬邸の将来的に望まれる活動・活用)

将来的に望まれる活動・活用については、「休憩・会話」が41件、「飲食」が37件と多く、日常的に利用できる活動・活用が望まれている。次いで、「地域活動の場」が30件と多い。

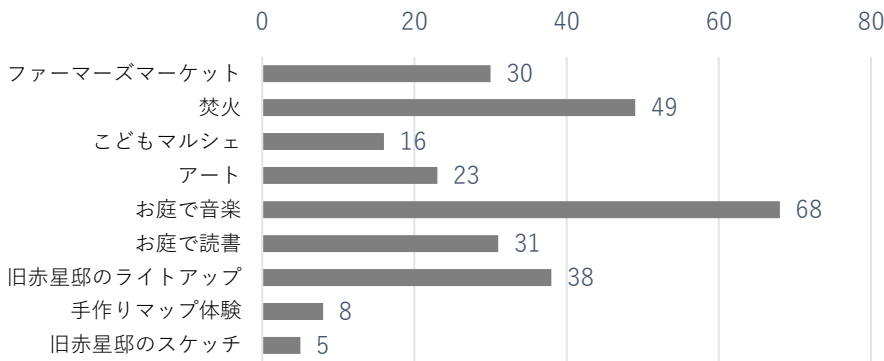
▼将来的に望まれる活動・活用 (来場者対象アンケート調査)



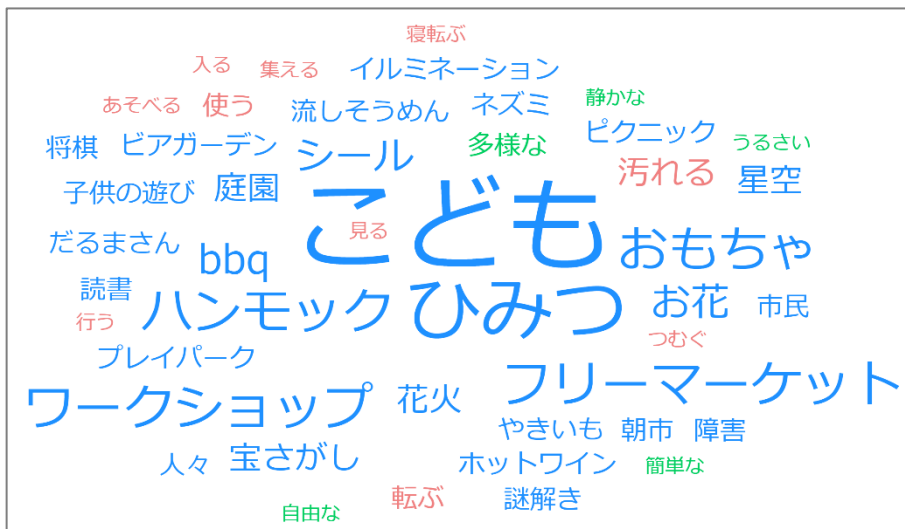
(庭園での利用意向)

会場内で「この庭、どう使いたい？」をテーマにワークショップを実施した。市民ワークショップで出された意見で今回の社会実験の企画として実施しなかった企画を掲載したコンテンツボードを作成した。コンテンツボードでは、「お庭で音楽」が68件と最も多く、次いで「焚火」が多い結果となった。また、その他自由に記述できるワークショップボードでは、子どもに関する活動・遊戯・運動に着目した企画に関する声が多かった。

▼コンテンツボードの調査結果



▼ワークショップボードの自由記述 (テキストマイニング※出現頻度順)



●周辺環境への影響

(音環境調査)

社会実験時の音環境を確認し、近隣への影響度合いを把握した。計測地点は、①旧赤星邸屋上、②南側隣地付近、③西側隣地付近の3地点で計測した。

環境基準法に規定される騒音に係る環境基準と比較評価すると、当調査における音レベルの平均値は、住居地域*の昼間の基準値(55dB以下)を下回る若しくはそれ相当の数値となった。

一方で、一時的に鳥の鳴き声や調査機付近での会話等で一時的に高数値になることはあるが、継続的なものではなかった。

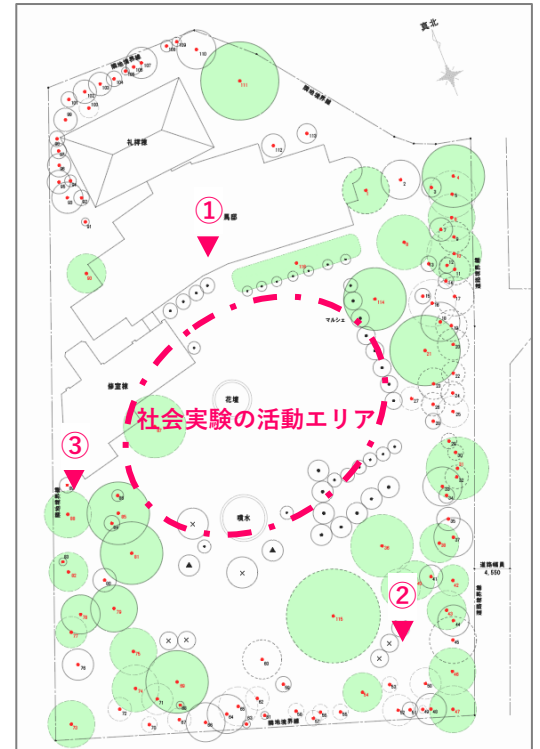
▼音環境調査結果概要

	①旧赤星邸屋上			②南側隣地付近			③西側隣地付近		
	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN	AVE	MAX	MIN
10:00	50.35	62.90	44.70	46.04	60.20	37.60	-	-	-
11:00	49.65	59.10	43.10	46.14	58.80	39.10	45.04	51.10	38.50
12:00	48.46	56.10	42.80	55.88	76.70	44.80	46.92	54.70	40.20
13:00	50.35	56.60	45.60	50.02	62.90	43.10	45.92	63.30	39.60
14:00	50.69	59.90	44.40	45.78	66.60	38.50	47.31	58.20	41.20
15:00	51.92	60.10	46.10	47.86	76.30	39.20	45.92	58.20	39.30

※単位は、音レベル (dB)

※環境基準法に規定する環境基準における地域の類型A及びBを「住居地域」と定義した。

▼調査機設置位置

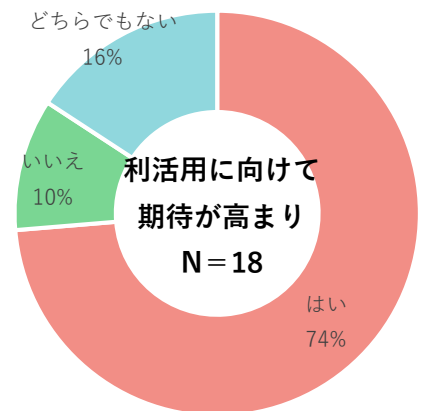


(近隣住民による印象調査)※近隣住民対象アンケート調査実施途中報告

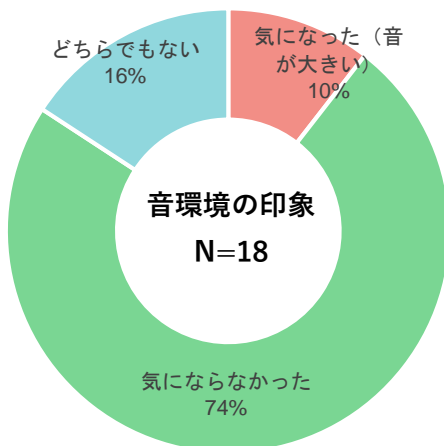
社会実験当日に、会場や自宅にいた方を対象に社会実験の印象調査*を実施した。社会実験の実施を受けて利活用に向けた期待の高まるかについては、74%の人が「はい」と回答した。

また、近隣住宅・住民への影響として、「音環境」「人の多さ」「交通量の増加」の印象を調査した。いずれも「気にならなかった」が最も多く、「音環境」が80%、「人の多さ」が67%、「交通量の増加」が73%であった。一方で、「気になった」との回答もあるため、今後の社会実験や利活用においては十分な配慮が必要である。

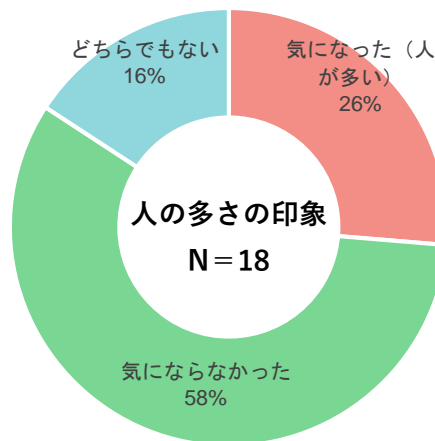
※近隣住民 129 世帯を対象に社会実験の実施を受けて活動自体や当日の印象、今後の意向や懸念点についてアンケート調査を実施した。(回収数 28 通 (回収率 21.7%))



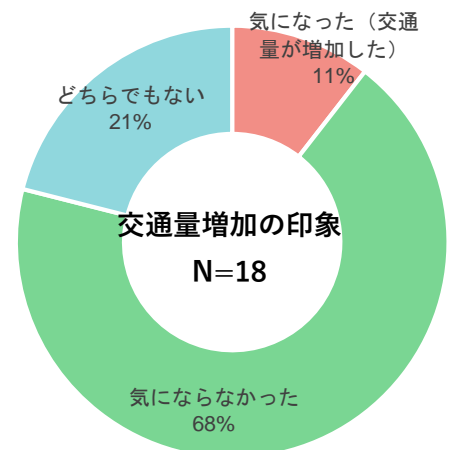
▲利活用に向けた期待の高まり



▲音環境の印象



▲人の多さの印象



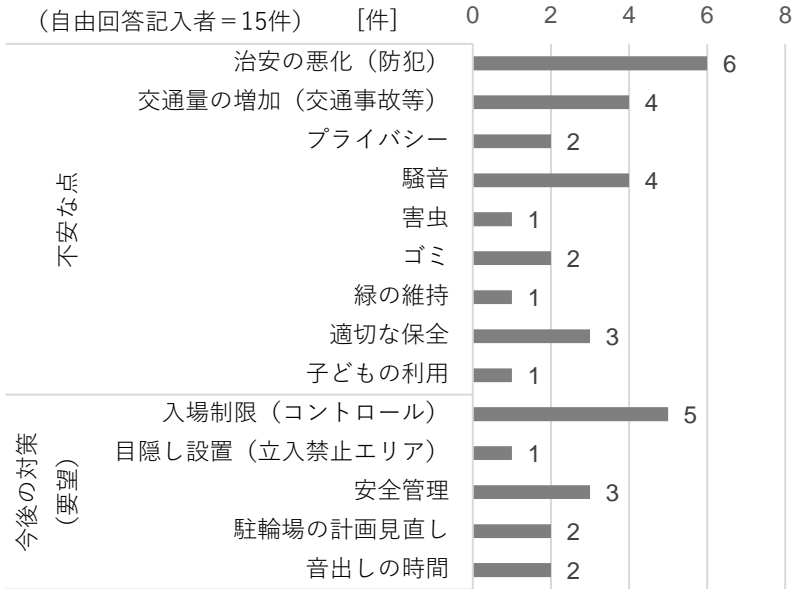
▲交通量増加の印象

●今後の活動における留意事項（近隣住民の要望（心配な点）や留意事項）

近隣住民対象アンケートによると、旧赤星鉄馬邸の活用を進める中で心配される事項は、「治安の悪化（防犯）」に関する意見が6件と最も多く、他に「交通量の増加（交通事故等）」「騒音」が4件で次いで多かった。

また、今後の対策として講じてほしい事項としては、「入場制限（コントロール）」に関する意見が5件と最も多かった。

▼活用を進める上で不安点（近隣住民対象アンケートから解析）



▼具体的な意見（抜粋）

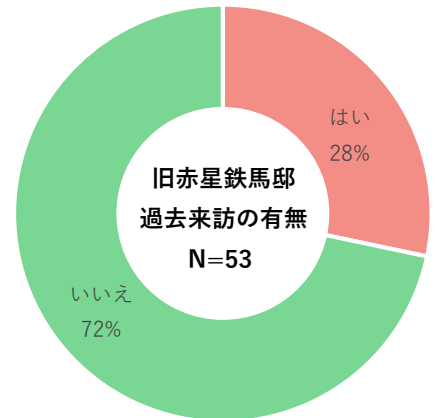
- A氏（印象調査で音、人の多さ、交通量で気になったと回答）**
 近所に住んでいる人の事を考え多人数の入場をさせない。近くまで家のまわりに入り込ませないでその時だけの柵をもうけてほしい。交通量も考えてほしい。こちらを見ている人には感じないかもしれないが、家をじろじろみられるのを本当に不愉快である。そんな人と目があうのがとてもいやでたまらない。1日中不愉快な思いで過ごした。
- B氏（印象調査で人の多さで気になったと回答）**
 玄関が赤星邸の庭から直に見えるため、人通りが増えると防犯面で少し心配です。邸宅に入れる時間を制限するなど、何らかの安全管理はしていただきたいと感じます。
- C氏**
 来場者が増えすぎると地元の人たちがゆっくり過ごしづらくなるので、周辺に住む人をターゲットにした企画、コアなファンを引き付けるような企画にする等をしてうまくコントロールしていただきたい。
- D氏（印象調査で人の多さで気になったと回答）**
 住んでいる人がいないうえ、不特定多数の人が訪問されるようになると、防犯上、問題が心配される。(そもそも、大きな木が多すぎることで、目がつきにくい。)
- E氏**
建物を丁寧に利用しない人への注意ができるか心配。子ども・大人も乱暴に使用する人。大声でしゃべったりする声（大学生が叫びながら歩いていると、とても気になっているので、大声を出す活用はやめてほしい。)

●その他来場者の属性

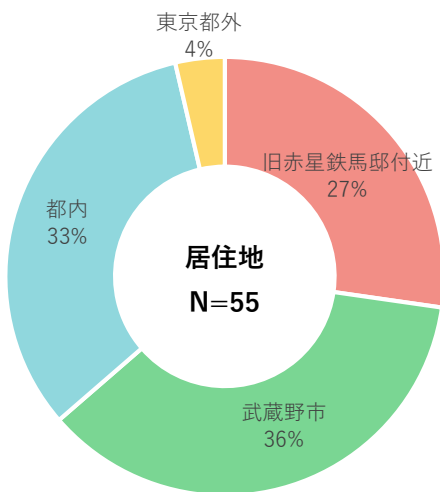
今回、来場した方の72%は、旧赤星鉄馬邸に来たことがない人であった。来場者の居住地は、武蔵野市内が63%（近隣27%、近隣外の市内36%）であった。都内（市外）からの来場者も33%あった。

来場者の移動手段は、「徒歩」が47%、「自転車」が27%と、近い距離からの来訪者が多かった。なお、当社会実験では、予備駐輪場として第一小学校を確保していたが、ほぼ使用されなかった。

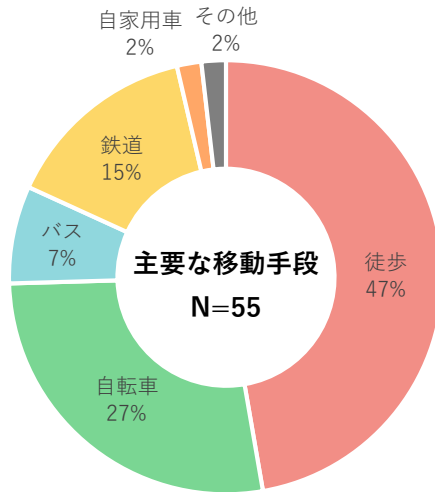
来場グループは、「家族（子ども含む）」が38%と最も多く、次いで「一人で」が29%と多かった。



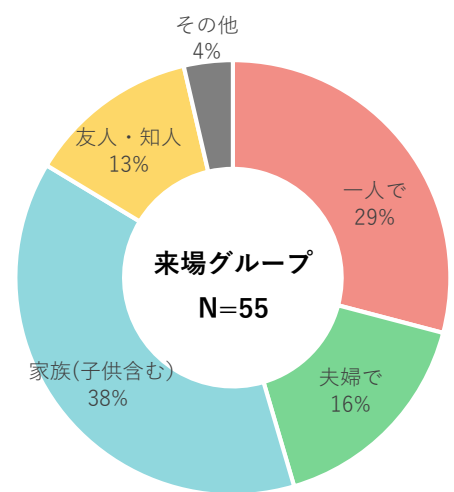
▲旧赤星鉄馬邸の過去来訪の有無



▲居住地



▲主要な移動手段



▲来場グループ